



Title	太宰治スタディーズ 第6号 著者紹介
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2016, 6, p. 138-139
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/57186
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

著者紹介（五十音順）

井原あや（いはら・あや）

大妻女子大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）。現在、亜細亜大学、大妻女子大学、相模女子大学、実践女子大学、日本大学、早稲田大学非常勤講師。論文「『妻』は誰を救ったか——映画「ヴィヨンの妻〜桜桃とタンポポ〜」」（『坂口安吾研究』2016.3）ほか。

内海紀子（うつみ・のりこ）

お茶の水女子大学大学院博士後期課程単位取得退学。日本大学・共立女子短期大学・聖心女子大学非常勤講師。論文「アナロジーと主体——戦時下のレトリック空間と太宰治」（『太宰治スタディーズ』第5号、2014.6）、「『桜桃』論——占領下の〈革命〉」（山内祥史編『太宰治研究』第19号、2011.6）、「文案記者・大手拓次」（安中市ふるさと学習館編『薔薇の詩人——大手拓次の生涯——』2007.10）など。

大國眞希（おおくに・まき）

東京学芸大学連合大学院修了、博士（教育学）。現在、福岡女学院大学教授。人間によって象徴化されたとの観点から文学作品を、絵画や音楽との比較を通じて研究している。近年は特に〈音〉に注目した環境教育と文学教育との横断的研究をおこなっている。著書『虹と水平線』（おうふう、2009・12）など、論文「〈音〉と〈空間〉を読む「国語」狭隘の理論と実践」（『水月』2015・4）など。

小澤純（おざわ・じゅん）

1976年生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学、博士（文学）。現在、慶應義塾志木高等学校教諭、早稲田大学・恵泉女学園大学非常勤講師。論文「太宰治と村上春樹を切り閉じるノート——三島由紀夫・奥野健男・フロベール『感情教育』——」（『太宰治スタディーズ』別冊、2015.6）、「『芋粥』の中のベルクソン——〈意志〉と〈欲望〉の相関」（『芥川龍之介研究』2016.3）等。

斎藤理生（さいとう・まさお）

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。現在、同准教授。博士（文学）。著書『太宰治の小説の〈笑い〉』（2013.5、双文社出版）、論文「織田作之助『夜光虫』論——「大阪日日新聞」を手がかりに」（『国語国文』2015.12）、資料紹介「小林秀雄「政治家」解説」（『新潮』2015.9）、「織田作之助新資料「俄法師」とその周辺」（『昭和文学研究』2016.3）ほか。

滝口明祥（たきぐち・あきひろ）

1980年生まれ。学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（日本語日本文学）。大東文化大学専任講師。著書『井伏鱒二と「ちぐはぐ」な近代』（新曜社）、論文「『風俗』と『喜劇』が結びつくとき——井伏鱒二と戦後喜劇映画」（『文学』2014.11）、「『ツーリズムのなかの「富嶽百景」——太宰治と山梨」（『文学・語学』2014.12）ほか。

長原しのぶ（ながはら・しのぶ）

関西学院大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期課程修了。博士（文学）。現在、香川高等専門学校准教授。論文「二つのイエス物語——『人間失格』と『美しい女』の考察——」（『キリスト教文藝』第三十輯、2014.7）、「遠藤周作『叛逆』論——『深い河』に展開する〈生〉の循環」（『遠藤周作研究』第八号、2015.9）など。

野口尚志（のぐち・なおし）

1976年生まれ。筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科文芸・言語専攻日本文学領域修了。博士（文学）。現在、専修大学松戸中学・高等学校非常勤講師。論文「太宰治「めくら草紙」論——〈空虚〉なく〈私〉とボードレール、象徴主義——」（『稿本近代文学』2012.12）、「太宰治「二十世紀旗手」論——「市民」の芸術と「ジャアナリスト」——」（『太宰治スタディーズ』5号、2014.6）など。

平浩一（ひら・こういち）

早稲田大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得退学、博士（文学）。現在、国士舘大学准教授。著書『「文芸復興」の系譜学——志賀直哉から太宰治へ』（2015.3、笠間書院）、論文「白井喬二と「大衆文学」形成期——石井鶴三宛中里介山書簡の位置」（『信州大学附属図書館研究』第5号、2016.1）など。

松本和也（まつもと・かつや）

1974年生まれ。立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了、博士（文学）。現在、神奈川大学准教授。著書『昭和一〇年代の文学場を考える 新人・太宰治・戦争文学』（2015.3、立教大学出版会）、論文「ペットロスの「私」による語りの戦略——江國香織「デューク」の教材研究」（『日文教 国語教育』2015.11）ほか。

吉岡真緒（よしおか・まお）

1972年生まれ。國學院大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期満期退学。現在、國學院大学兼任講師。論文「太宰治『お伽草紙』論——『お伽草紙』のコンストラクション」（『太宰治スタディーズ』第5号、2014.6）、「『台湾愛国婦人』と花圃——台湾愛国婦人の時代および女性像をめぐって」（『台湾愛国婦人』の研究～本文篇・研究篇』2015.2、國學院大学）など。

野本聡（のもと・さとし）

1966年生まれ。明治大学大学院博士課程後期課程文学研究科日本文学専攻満期退学。現在、明治大学、二松學舎大学兼任講師。

「●論——アヴァンギャルドの考古学——」（『社会文学』第39号、2014.2）、「テロルと、ダダと、オナニーと——記憶のなかのアヴァンギャルド——」（『昭和文学研究』第70集、2015.3）など。